

道東営業部より新年のご挨拶

道東営業部長 鎌田 国博

新年あけましておめでとうございます。

令和7年の新春を迎え、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より弊社事業につきまして、特段のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

2024年は全国各地で記録的な大雨や地震により大きな被害が発生し、畜産・農業も昨年同様に気候変動や災害に悩まされた年でありました。また、世界に目を向けると、ロシアによるウクライナ侵攻に加え、不安定な中東情勢が続いております。

飼料などの生産資材の高止まり、外国為替も円安傾向で生産コストの高騰により厳しい状況が続いています。日本の農業は海外に依存せざるを得ない状況で、世界情勢の変化に大きく影響を受けます。一刻も早く、輸入飼料に頼らない国内飼料基盤に立った足腰の強い酪農、畜産経営を目指す必要があると思う次第です。

道央営業部より新年のご挨拶

道央営業部長 小野木 修

新年あけましておめでとうございます。新春を迎え、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、弊社製・商品に対し格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

海外では米国トランプ大統領の再選やウクライナ侵攻、パレスチナ紛争が未だ続いており、世界のエネルギー、為替相場に大きな影響をもたらしています。日本国内を見ると、円安の影響もあり海外からの輸入に依存しているエネルギー原料や穀物が高騰し、物価高に歯止めがかからない状況が続いています。農業分野を取り巻く環境を見てみると、肥料や資材、飼料の高値が続いており、生産コスト上昇は避けられない状況です。

昨年の日本酪農青年研究連盟（略称：酪青研）の経営発表では標茶町に新規就農した大宮陸美さんが最優秀賞を授賞されました。黒澤西蔵翁の説いた『健土健民』を経営の基本とし「人間の健康を育む良い牛乳は

その中で、やはり自給飼料の質、量は経営を左右する重要なポイントであり、良質な自給飼料の生産が、足腰の強い経営に繋がると考えています。

弊社としても牧草更新や肥培管理技術を提案させていただき、良質な自給飼料の生産と、「土づくり、草づくり、牛づくり」による北海道産の乳畜産物の生産に寄与したいと考えております。また、近年の温暖化により環境変化に対応した作物開発や栽培適地の検討を引き続き行い、自給飼料にあった配合飼料の開発と飼養管理技術の提案を進め、持続可能な酪農生産に貢献させていただく所存です。

ご愛顧いただいております種子は海外での採種および生産が大半であり、世界情勢、天候状況によって不安要素もありますが、皆様に安心してご利用していただくように努めてまいります。

本年も長年にわたって培ってきた技術やノウハウを活かして、酪農・畜産の生産現場にしっかりと目を向けた数多くの商品と技術を取り揃え、皆様のご用命に応えたいと考えます。今後とも、皆様のご健勝と益々のご繁栄を心からご祈念申し上げご挨拶と致します。

健康な牛から搾られ、健康な牛は栄養の高い牧草で育ち、その牧草は健康な土から育つ」という「天地自然循環の法則」を酪農の本質として、持続可能な農業経営のために圃場の力、牛の力を最大限に引き出すことを実践しています。

情勢や環境が悪い時こそ原点に戻ることが大切です。堆肥や緑肥を用いることで土に活力を貯える。雑草が多い牧草地はマメ科の追播やトウモロコシ等の高栄養、高収量作物を栽培し自給飼料栄養価を高める。環境に合わせた作物を生産するなど、今できることと将来に向けた取り組みが必要です。

昨今の気象の影響から、北海道でも暖地型作物が栽培できる可能性がでてきました。地域環境に合った作物を生産することでロスを軽減し生産性を高めることも可能です。弊社は、こうした環境に適した栽培技術と生産物の活用、新たな品種と技術の開発に日々努めてまいります。そして生産者の皆様と共に、この難局を乗り越え持続可能な農業の発展のお手伝いに取り組んでまいります。

本年も農作業の無事と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。